

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2021年 12月



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2021年 12月 1日発行 通巻344

年末・年始 山行を

無事故で楽しもう！

1 2月号目次

・ 目 次	2
・ 1 1月理事会報告	3
・ 事故防止経験交流集会報告	7
・ 転倒事故分析	9
・ ハイキング委員会交流山行報告	1 2
・ 安兵衛井戸コース報告	1 4
・ 第3回オンライン講演会報告	1 5
・ クリーンハイク実施報告	1 6
・ 全国ハイキング交流集会への寄稿	1 7
・ 地域活動紹介（かがりび山の会）	1 9
・ 1 2月・ 1月予定表	2 0

表 紙 写 真 説 明

ハイキング委員会の目玉行事「房総ロングハイク」のコースポイントです。浪花駅から御宿海岸までの海岸線を太平洋を眺めながらビスタリー・ビスタリーと歩きます。コロナ禍により見送りにした、南房総を満喫出来るコースです。ハイキング委員会が、コースの下見や整備をして準備をしています。

- ・ 実施日：2022年1月29日（土）。
- ・ 集合場所：JR浪花駅 解散：御宿海岸。
- ・ 詳細については、近日中に。会代表者・県連理事に連絡します。
- ・ 問い合わせ先：田中ハイキング委員長

—— 編集者 ——

千葉県勤労者山岳連盟 2021年11月理事会 議事録

議事録 作成者 渡辺 誠(松戸山の会)

◆ 日 時 2021年11月18日(木) 19:00~20:40 zoom 会議

◆ 出席者 (県連理事)：山の会らんたん、かがりび山の会、東葛山の会、岳人あびこ、ちば山の会、山の会岳樺クラブ、千葉民医連山を歩こう会、松戸山の会、君津ケルン山の会、千葉こまくさハイキングクラブ、船橋勤労者山の会、ふわくハイキングサークル、
(役 員)：広木会長、野田理事長、鶴田副理事長、伊東教育遭難対策委員
菅井自然保護委員長、安彦海外委員長、田中ハキング委員長、
(全国理事)：山本全国連盟理事

◆ 議 事

1. 野田理事長挨拶

- ・全国的にコロナは鎮静化してきているが、今後も感染に注意の上活動を。
- ・来年度総会の準備に入っている。各会理事の協力をお願いしたい。

2. 役員会報告(広木会長)

- ・11/1(月) ZOOM 役員会で実施した。
- ・総会是对面を予定、3月第1土曜日又は日曜日、県スポーツセンターを予定。
- ・議案書はメールで各会へ配布し、各会で印刷して検討・総会に持参の事。
- ・県連活性化のため、次年度の活動等、具体的な意見・質問・方策等の連絡をお願いします。

3. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会(伊東)

- ① 10月の事故報告はなかった。
- ② 11/6 事故防止・経験交流集会実施報告
 - ・今年は、ネットのVTRを有効活用しながら実施した。
 - ・《午前》事故報告。転倒事故防止対策。事故事例研究 等
 - ・《午後》4グループに分けて(ハイキング縦走、コロナ対応、事故防止、山行管理)フリーディスカッション 等を実施。
 - ・9会から22名と、参加者は少なかったが活発に意見交流が行われた。
 - ・事故事例研究 VTR は効果的で、今後当会でも研修に活用したい。(岳人あびこ：深草氏)

2) 自然保護委員会(菅井)

- ① 本年度は県連統一クリーンハイクを実施していない。「千葉こまくさHC」が花

見川で実施（報告あり）。「ふわくHC」の田中氏も単独で実施している。

② 関東ブロック自然保護交流会（主催当番）を、来年度は実施予定。

③ マイクロプラスチックの件は、どうなっているのか?(野田)

今後検討し総会に提案予定。

3) ハイキング委員会（田中）

① 11/9ハイキング委員会を開催した。

② 第36回房総ロングハイキングは2022年1月29日（土）に実施予定

・実施の有無は1月26日に判断したい。

・ロングハイキングの人数制限はあるか（野田）→会ごとの分散活動なので無い。

・バスや車での参加者への参加情報は、12月の「ちばニュース」に掲載する。

・申し込み締め切りは1/20となっているが、早めに人数掌握した方がいい。

→ 1月10日締切の旨、各会に訂正内容を連絡したい。

③ 次年度のウィークデーハイキングは、「関東ふれあいの道」を予定している。

4) 組織委員会（野田）

① 2年毎実施の「各会の状況調査」、提出締切は11月末

② 会活動の「実績報告」、提出締切は12月末。

③ 総会資料とするため、未提出の会に提出を依頼中。

5) 女性委員会（広木）

・12月7日に委員会を開催予定

6) 海外委員会（安彦）

① 次回委員会開催は、1月13日（木）

② オンライン講演会（第3回、第4回）は、高所登山関連。

海外委員等に参加を要請。

7) 機関誌委員会（広木）

・ちばニュースの紙面内容を改革したい。意見・要望をお願いします。

4. 全国連盟関連

1) 全国連盟表彰申請について

・隔年で実施される総会に合わせて表彰がある。

・栄誉功労章は県連推薦、永年表彰は各会よりの推薦です。

① 全国連盟・栄誉功労章に以下の3名を推薦する。

・安彦秀夫 氏（東葛山の会）会役員を歴任、現海外委員長

・伊東春正 氏（かがりび山の会）会役員を歴任、現教遭委員長

・荒井 良 氏（山の会「岳樺クラブ」）会役員・県連理事を歴任

② 永年会員章推薦（入会20年）については、各会で直接全国連盟に申請の事。

・12月31日までに申請する。

・表彰は、一回のみの表彰で、再度の表彰はない。

3) 会員数の報告の依頼について(11月末現在数、男女別で報告)

次年度の連盟費の根拠となるので、会で検討して報告をお願いします。

- ・12月5日までに、野田理事長に報告。

- ・提出後の人数の修正は出来ません

来年度会員の動向を確実に把握し、11月末会員数より減員が想定される場合は、報告会員数に増減数を反映させて下さい。(広木)

4) 来年度の全国連盟役員として、以下3名を推薦する。

- ・石川 昌 氏(船橋勤労者山の会) 現全国理事

- ・山本 尚徳 氏(かがりび山の会) 現全国理事

- ・鶴田 秀雄 氏(ちば山の会) 現労山基金運営委員

- ・全国連盟から千葉県連へ、女性意見の尊重、若者の加入増進等の理由から、女性理事の推薦依頼あり。

5) 第35回全国連盟総会(2年毎実施、2/19~20)が実施される。

県連盟・代議員として、野田理事長、安彦役員、伊東役員の3人が参加予定。

6) 全国連盟情報(以下の集会在予定されています)(安彦)

希望者が少ないので、参加PRして下さい。

- ・11月23日(火) 「MFAプロバイダー要請講座」

- ・11月27日(土) 「第22回全国ハイキングオンライン交流集会」

- ・12月11日(土)・12日(日) 「山筋ゴーゴー体操サポーター要請講座」

7) 登山時報についての質問に対する、山本全国理事発言

- ・登山時報、労山ニュース等の情報誌を、一本化することも視野に検討中である。

- ・登山時報のデジタル化・無料化については、現在の購入者を勘案し3ヶ月遅れでHPに掲載している。リアルタイムの掲載については現在検討中であり、2月の総会の時には具体的な話ができると思う。

(登山時報は組織の機関紙であるから、無料でもいいのではないかの意見あり)

8) 全国連盟理事からの報告・情報提供等

- ・石川 全国理事(野田氏代読)

「34期20回全国連理事会」(10/28)の様子は、メールで配信した。

- ・山本 全国理事

現在、総会に向けて準備を進めている。

5. 各会理事からの会活動状況の報告

《君津ケルン山の会》

- ・12月から例会実施する。

- ・地元の山を中心に山行を実施している。

《かがりび山の会》

- ・10月から会山行も活性化している。

- ・HPの視聴をきっかけに、50代の入会者が増加している。

《岳人あびこ》

- ・10月から対面で例会実施。オンライン講習会にも積極的に参加がある。
- ・25周年を記念し「茨城の山を登る」を実施している。
- 10-11月で27座を登り、残り12座。

《ちば山の会》

- ・定例会に30名近く参集し、山行も含めて積極的に活動している。

6. その他協議事項・連絡事項

1) カレンダーの申込について（野田）

- ・各会でまとめて全国連に申し込むとともに、深草理事まで連絡して下さい。
- 申込連絡のあった会は少ないが、とりあえず12月10日を締切日としたい。
- ・料金は広木会長まで、12月例会に持参して下さい。（1000円/部）
- ・12月理事会に持参出来ない場合は、振込口座をメールでお知らせします。

2) 県連主催 ZOOM 講演会について（安彦）

- ・第2回講演会 10月28日（木）19:00～20:30 24名参加。
- ・今後は、次の通り。
- 第3回講演会 11月25日（木）『国内高所 2500～3500mトレッキング』
- 第4回講演会 12月25日（木）『海外高高所 3500～5800mトレッキング』
- 《内容》高山病の症状と対策、高所順応と順化、高所順応の方法等

◆ 12月理事会について

- 1, 実施日 : 12月16日（木）19:00～19:00
- 2, 会場 : 船橋西部公民館
1週間前に実施案内をメールで連絡します。（野田理事長）
- 3, 主な議題 : 総会議案について。
: 次年度の役員体制について。
: 次年度の活動についての意見交換。

以 上

（文責 広木 国昭）

千葉県連盟 第56期（2022年度）

第57期（2023年度） 定時総会について

- ◆ 実施日 2022年3月 5日（土）又は 3月 6日（日）
- ◆ 会 場 千葉県総合スポーツセンター・宿泊研修所大ホール
- ◆ その他
 - ・総会代議員 会員10人に1人（端数は四捨五入）
10人以下の会は代議員1名
 - ・総会役員 議長（2名）書記（2名）役員から各会に依頼します。
 - ・会計監査 1名 会計資料出来次第監査を実施します。
 - 各会で検討し、積極的に協力をお願いします。
- ◆ 問合せ・連絡先：野田理事長 (noda.hisao@jcom.home.ne.jp)

2021 事故防止・経験交流集会 実施報告

教育遭難対策委員長 伊東春正（かがりび山の会）

教育遭難対策委員会主催で実施した事故防止・経験交流集会を報告します。

(1) 日程：2021 年 11 月 6 日（土） 10 時～16 時 30 分

(2) 場所：千葉市幕張勤労市民プラザ

(3) 参加者：9 会から 22 名

（かがりび山の会、船橋勤労者山の会、まつど遠足クラブ 1 年さくら組、東葛山の会、
茂原道標山の会、千葉こまくさハイキングクラブ、岳人あびこ、ちば山の会、松戸山の会）

(4) 実施内容

①事故報告

今年度の事故は 4 件と減少したが、

- ・ 高齢者の女性の事故（3 件）
- ・ 転倒事故（3 件）

と傾向は従来と変わらない。

②転倒事故防止対策

過去 8 年間の転倒事故 33 件の分析結果を報告、内容は別の報告記事を投稿している。

転倒事故防止対策として、トレッキングポール使用とトレーニングにより筋力とバランス力の維持・向上を呼びかけた。

③事故事例研究

単独行の低山登山にて道に迷い、夜間に沢を降り、滝から転落して 13 日目に救助された事例をビデオで視聴した後、グループにわかれ討議した。

不安な心理状態時には、平常時では考えられないような行動となる事例を取りあげた。人間心理として認知バイアスがあり、自分の思い込みや周囲の環境といった要因により、非合理的な判断をしてしまう心理現象である。

認知バイアスに陥らずに、正確な判断を行うには、人の意見を聞き入れることだと言われており、単独行登山は高リスクだといえる。。

④ビデオ講演

遭難事故の背景には体力不足があり、自分の力量に合った山を選んで登るように、山の難易度と体力度を示す山のグレーディングと、自身の体力度を測る登攀速度（メッツ）を紹介するビデオを視聴した。

⑤体力測定

足の筋力測定として 10 回の立ち上がり・座り時間、バランス力測定として片足立ち時間をそれぞれ測定した。

参加者全員が普通以上の測定結果であった。

⑥フリー・ディスカッション

あらかじめテーマを決めた4つのグループに分かれて、ディスカッションを行った。
話し合われた項目を紹介する。

□ハイキング・縦走グループ、

- ・登山スタイル
- ・トレーニング方法
- ・新型コロナの影響
- ・登山することのメリット

□新型コロナ対応グループ

- ・各会、山岳4団体の共通認識をベースにして、オリジナルガイドラインを作成し、慎重に行動している。
- ・「緊急事態宣言」解除後は、活発に登山を行っている。

□事故防止の取組グループ

- ・計画書の提出期限と審査方法
- ・教育・訓練の取り組み
- ・リーダーとなるための心構え
- ・登山技術の進化

□山行管理の課題グループ

- ・各会の山行計画書の比較
- ・山行計画書の提出期限の確認
- ・自己責任の規定範囲の確認

実施後の総括では、今年も参加者が少なかったことが話し合われた。

そもそも会員数が多い会では、技術的な内容であれば、自分たちの会だけで訓練・講習を実施しているので、労山行事には関心が薄い。

それならば、事故報告と事故防止の取組や山行管理などの管理面に絞ったテーマで、開催してはどうかの意見が出された。今後の課題である。



開会挨拶



グループ・ディスカッション

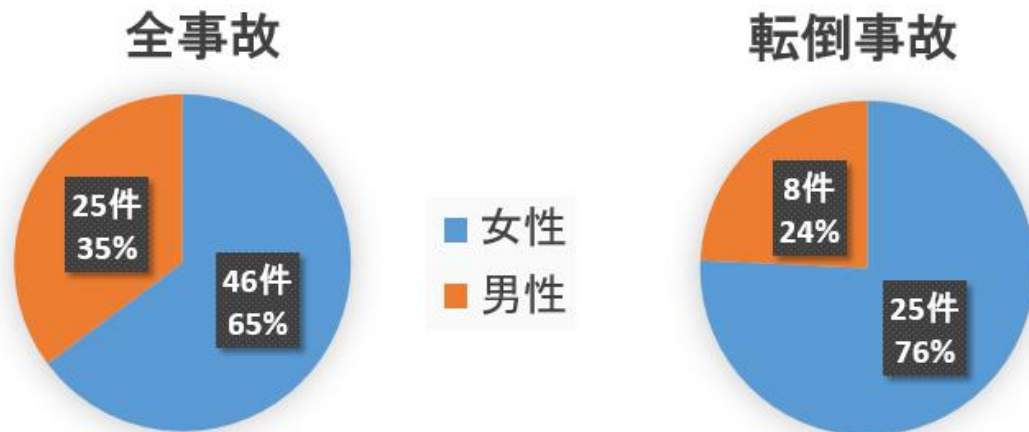
以上

千葉労山の転倒事故分析報告

教育遭難対策委員長 伊東春正（かがりび山の会）

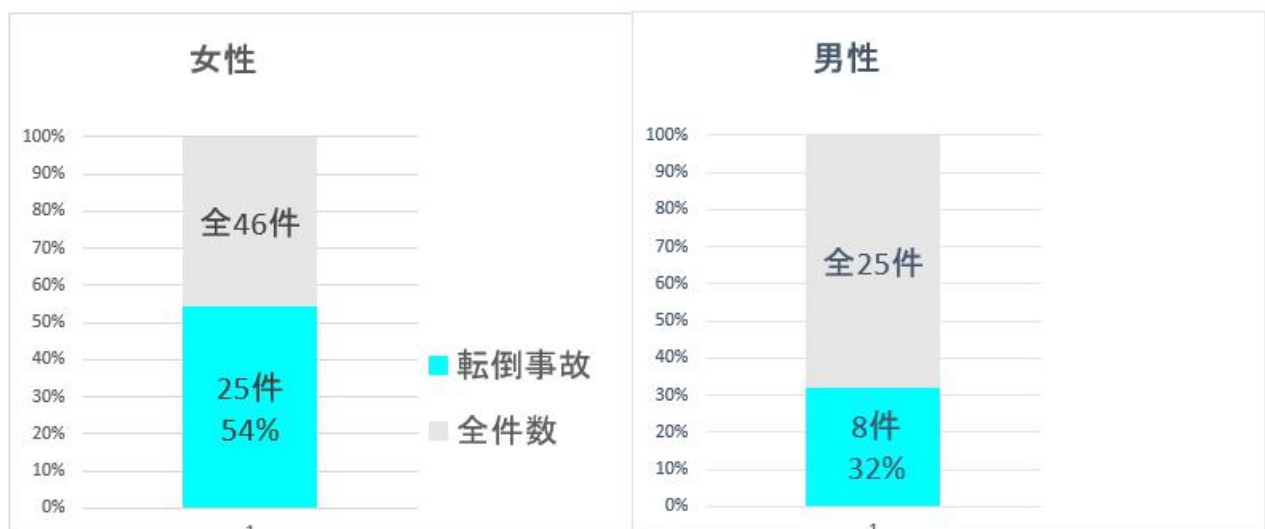
教育遭難対策委員会では、転倒事故防止を重点目標として取り組んでおり、過去8年間の転倒事故33件を分析したので報告します。

(1) 事故者の男女比



女性の方が事故が多いが、転倒事故はもっと多い。

(2) 全事故に占める転倒事故の割合



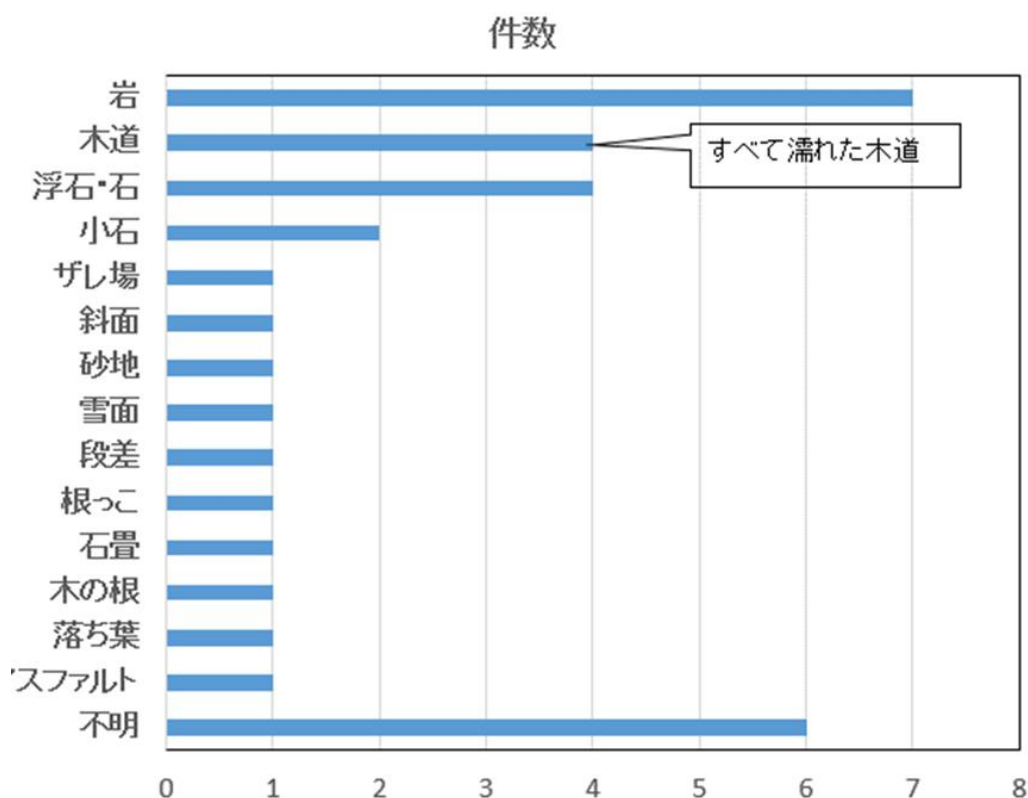
女性の方が転倒事故の割合が多い。

(3) 高齢者の転倒事故の割合



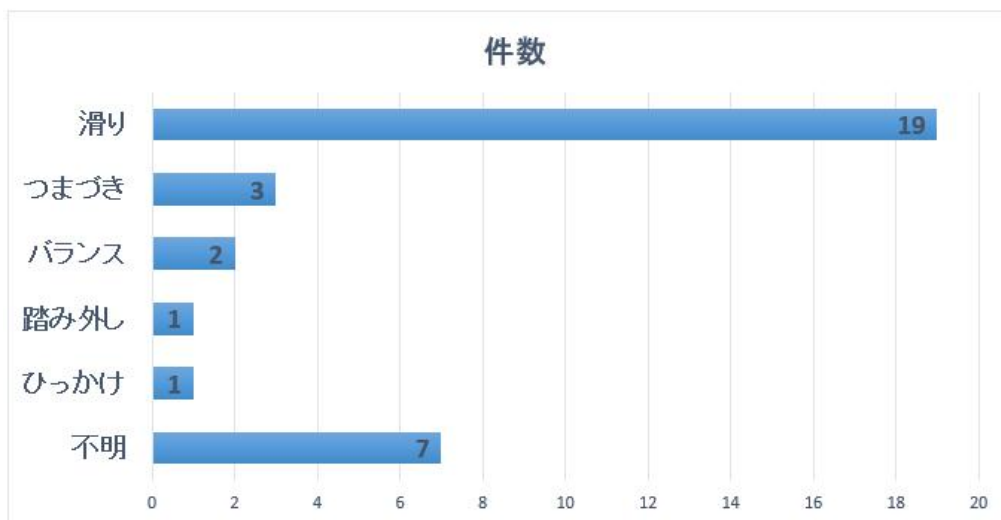
やはり高齢者は転倒事故が多い。

(4) 転倒場所



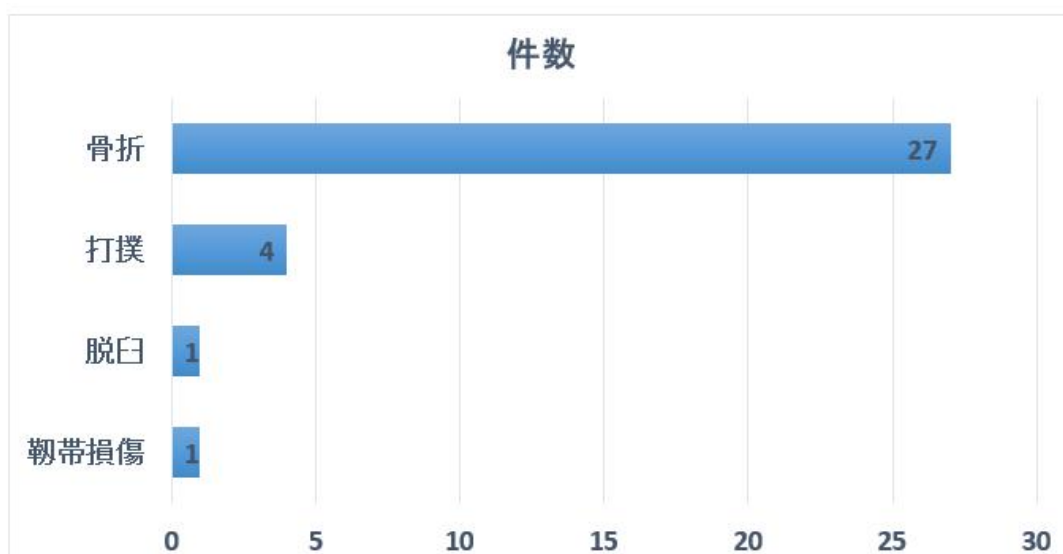
岩、木道、浮石・石が要注意であるが、その他にもさまざまな場所で転倒しており、登山道ではあらゆる場所で転倒する可能性があるということである。

(5) 転倒の直接原因



滑りが圧倒的に多く、注意力不足が根本原因と考えられる。
筋力・バランス力不足が原因と考えられる、つまづき、バランスは以外に少ない。

(6) 転倒後の外傷



転倒すると即骨折して重大事故となる。

(7) 分析結果からの提言

転倒事故の多くは、岩および濡れた木道で滑っての転倒です。
それらの場所では、慎重に行動してください。
特に65歳以上の女性は、注意してください。

以上

県連ハイキング委員会交流山行 参加報告

広木国昭 （ちば山の会）

長年ハイキング委員長として活動を牽引して来た、桑原年一さんが勇退しました。現在も一委員として活動に参加しています。

桑原さんが大事にして来た、ハイキング委員会の目玉行事「房総ロングハイク」「ウイークデー山行」にむけて田中新委員長を中心に準備をしてきました。

しかし、コロナ禍により2年続けて中止になり、次期にむけてコースの下見や整備を実施しています。

今回の山行は、ハイキング委員会の交流を兼ねて房総の山を知る、登山道復旧の現状を見ることを目的として田中委員長が呼びかけました。

田中委員長の所属する「ふわくハイキングサークル」は「房総の自然を守る」「仲間と地元の山を登る」を大事にしている会です。

台風と大雨で房総の登山道は大きな被害を受けました。多くの会や個人が登山道復旧に取り組んでいます。県連としては復旧作業の取り組みが出来ない中で、田中委員長は1人でチェーンソーを持参して復旧作業をしています。県連として登山道の復旧整備に取り組む必要を強く感じます。

今回の交流山行は、当初11月7日（日）に予定されていましたが天候を考えて急遽6日（土）に変更されました。事前の参加可否連絡等が不徹底な事もあり、6日の参加者は5名でした。

（田中リーダー（ふわくHC）・山の会ランタン2名・ちば山の会2名）



残念ながら、富士山は見えなかった。
また来る、口実が出来た。
これからの季節は見える日が多い。



台風直後に、田中さんが一人で
チェーンソー持参で切った倒木
はそのまま放置されている。

報告者：山の会ランタン 佐藤 かおる

柏山の会らんとんより、鴻嶋・佐藤が交流山行に参加させていただきました。お天気も穏やかなハイキング日和、鋸山の山頂からの眺望は抜群で東京湾も一望でき、かすかに富士山も確認できました。楽しい一日を有難うございました。

企画者田中委員長は台風一過の復旧作業を行い、登山道の整備は必須のようです。鋸山は329mの低山ながら魅力がいっぱい、今回は行かなかった日本寺の境内を歩き日本一の大仏や無数の石仏、百尺観音も見学したいです。

山の会らんとんは、千葉北西部にあり近場の日帰り山行は筑波方面や栃木の山に登り、なかなか南房総の山に来る機会が少なく来年のロングハイクには多数参加出来るよう例会にて伝えたいと思います。

広木ご夫妻には千葉駅まで送っていただき、帰りも順調で16時には帰宅して、ゆっくりと夕飯の支度ができ感謝しております。

- ・コース：車力道～鋸山～展望台から山頂～岩舞台～観月台～金谷
- ・参加人数：ふわくHC・1名 山の会らんとん・2名
ちば山の会・2名
- ・車力道コースは、台風直後、田中さんが登山道を塞いでいる倒木をチェーンソーで伐採しながら、展望台まで2時間かかったそうです。その時伐採した倒木が、そのまま放置されていました。



鋸山は、観光客も戻ってケーブル利用の観光客が地獄を覗いていました。展望台には、フェリーで来た人達もいました。この人たちが、展望台から山頂まで足を延ばして房総の自然を実感してほしいと思いました。

鋸山 安兵衛井戸コース 山行報告

菅井 修（ちば山の会）

【日時】 2021 年 11 月 7 日(日) 曇り

【山城】 房総半島 鋸山

【参加者】 田中（ふわくHC）菅井、八角、寺崎、吉瀬（ちば山の会）

【行程】 浜金谷 9:45－駐車場 10:03－手掘りトンネル 10:55－安兵衛井戸 11:20－東の肩 12:10－鋸山山頂 12:45 鋸山山頂－展望台 13:18－駐車場 14:20

【報告】

浜金谷駅で待ち合わせ 田中さんの案内で安兵衛井戸コースを歩きました。

このコースは 2019 年の台風による被害でひどく破壊されたコースですが、田中さんが行政と連絡を取りながらチェーンソーで倒木を整理し、現在も続けています。

登山道には行政がつけた赤テープもありますが一般者進入禁止の表示があります。

田中さんの先導で、川沿いの狭い未舗装のぬかるんだ登山道を進むと、猪が掘り返した「ぬた場」がある。その先に行くと倒木が道を塞いでいる。半年前に伐採し整備したが、その上にあった倒木が下がって登山道を塞いで通行出来なくなっている。

倒木の下をくぐったりまたいだりして進む。



手掘りトンネル入口（登り）

トンネルを出て少しいくと「安兵衛井戸」がある。これは、沢の水が湧き出る所で、今は杉枝などで覆われていてわかりにくい。

その先の尾根をいくつか越すが、この辺りも倒木が放置されている。登山道の危険個所には田中さんがトラロープを設置したそうです。急登の岩場を過ぎると、やっと一般道の東の肩に到着した。一安心して昼食。

ここから一般道を快適に鋸山山頂に向かい、展望台から、車力道コースを下山した。

台風直後は、トンネル入口付近は崩れていて通れなかったそうで、トンネルの横（上）をよじ登るようにして通過していたそうです。何日か通って倒木を伐採し、土砂を取り除いて通れる様にしたとの事です。

トンネルの中は真っ暗で、所々に横に掘った空間がある。



『県連第 3 回オンライン講演会』参加者 33 名で開催

テーマ：『アフターコロナの山行①』

国内の高所（2500m～3500m）トレッキング

11 月 25 日（木）午後 7 時～8 時 30 分

＜オンライン講演会事務局＞ 安彦秀夫（東葛山の会）

参加申込みが案内配信と同時では…と思われるほどの早さで続々届き始めました。『そのうちに申し込みを…と思っていたら忘れてしまい受講し損ねたので直ぐに申し込みました…』という人がある一方、締め切りを過ぎてからの申込みも数名あり、嬉しい悲鳴を上げながら開催時刻を迎えました。

オンライン講演会の開催のきっかけとなった『高所登山』がテーマで、また、日ごろ夏山などで歩いている標高の山々が対象である…ということもあり、講演を終えてからの質疑応答が時間を惜しみながら行われました。いくつかを紹介します。

（Q1）現地に留まっただけの高山病の具体的な対処方法は？

A: 直ぐ下山することを勧めますが、まずは『高所呼吸法』を試みることを勧めます。酸素吸入ができる環境であれば、是非実施してほしい。

（Q2）高山病防止の一つとして『水を飲む』ことを言われているが、胃腸が弱く困っている。どのような工夫をしたら良いか？

A: 高山病の原因の一つとして『水分不足』が真っ先に挙げられるが、水を一気に飲まず、こまめに飲んだり、お湯を飲んだり、薄いポカリなどを飲むことを勧めます。コーヒーや濃いお茶、そしてアルコールは飲まない方が良いでしょう。

（Q3）富士山などで『酸素缶』を売っているが、効果のほどは？

A: 吸った時だけ気持ちよくなる程度です。高所呼吸法をまずは試してみてください。酸素を、できれば 1～20/分でズーと吸っていることが望ましいのですが…。

（Q4）1 週間ほどの高所順応期間が必要では、仕事している者としては難しいが…。

A: 『できる限り高い所に登っては低い所に下りて寝る』を何度か繰り返すことが必要です。登山日程に、少なくとも 1～2 日の高所順応日を設定して欲しいですね。

（Q5）パルスオキシメーターの値段は？

A: ピンからキリまであります。数千円前後で十分でしょう。30 年ほど前は、10 万円程していましたが…。

（Q6）高所順応として山に通った場合、どの程度の期間、順応が持続されるのか？また、何度も登ったり下りたりを繰り返すのでは、体力が無いと難しいのでは…？

A: 1～2 週間間隔で山に行った場合、1～2 週間で元に戻ってしまう。しかし、何度も行っている人は、順応も早くなる傾向にあるので、長い目で見て欲しい。など（テキスト、資料、Q&A は、県連ホームページに掲載）

（2021/11/28/Sun.）



第5回花見川クリーンハイク報告書

千葉こまくさハイキングクラブ
(総務部長 五木田)

- ・実施日 : 2021年11月5日(金) 晴
- ・参加人数 : 22名
- ・実施場所 : 花見川(千葉市花見川区)

親睦を兼ねた房総クリーンハイクは、今年もコロナ禍の為に中止でしたが、会員が多数居住する千葉市花見川区の花見川クリーンハイク(年1回)は、今年で5年目の実施となりました。花見川区役所を10時に出発し、瑞穂橋から亥鼻橋間の1時間45分程の活動で思った以上の大量のごみの回収ができました。清掃活動も5年目となると皆さん手際が良く、各自の役割(ごみ袋の搬送を行う自転車部隊、集めたごみを計量する軽量係など)を適切に果たし、登山にも通じるチームワーク力の向上に十分役立つ活動となりました。

活動終了後は、持ち寄った手作りの野菜や漬物などを囲み、野外の広場で昼食会。コロナ禍のうっ憤を吹き飛ばす、清々しい秋の1日でした。

可燃ごみ	不燃ごみ	合 計
80.6 kg (21 袋)	76.9 kg (19 袋)	157.5 kg (40 袋)



県連独自の『オンライン講演会』を実施中

【オンライン講演会実行委員会事務局】安彦秀夫（東葛山の会）

千葉県連では、この9月～12月に、4回の『オンライン講演会』を開催中です。
開催に至るまでの経緯と講演会の内容などに付いて報告します。

<1> 経緯

県連所属の会員の大半を占める『ハイキング層』を対象に、2015年10月に『県連創立50周年記念海外登山（バリ島サンライズトレッキング：24名参加）を実施後、毎年、『海外委員会』主催で『海外トレッキング』を実施しています。

- 1) 2016年：ファンシーパン（ハロン湾クルーズ等）＜ベトナム＞ 16名
- 2) 2017年：キリマンジャロ（サファリ等）＜タンザニア＞ 11名
- 3) 2018年：チェンダオ山とインタノン山（アユタヤ等）＜タイ＞ 23名
- 4) 2019年：コジオスコ山（ブルーマウンテンズ等）＜オーストラリア＞ 19名
大姑娘山（パンダ、川劇等）＜中国＞ 19名

昨年2020年4月に、今後の海外登山の希望目的地のアンケート調査をしました。その結果を参考に、秋にも実施するつもりでしたが、コロナ禍ということで諦めました。そして、今年2021年も、企画することもできませんでした。

海外委員会として、海外トレッキングの実施に替わる何かをしたい…ということで、『高所登山時のトラブル』などに付いてのオンライン講演会を企画してみよう…ということになり、県連として各種の行事で講師としてお世話になったことのあるプロ山岳ガイドに相談しました。

相談の中で、『コロナ禍の山行』も話題になり、是非とも併せてお願いしたい…ということになり、タイミングも重要と考え、直ぐにでも開催したほうがベストと考えました。先ず2回を『コロナ関連』、後の2回を『高所登山関連』の4回を年内に開催する…と決めました（8月17日）。

講演内容を考えた場合、『海外委員会』ではなく、県連として取り組んだ方が好ましいと判断し、『オンライン講演会実行委員会』を急遽立ち上げました。

<2> 講演日程と参加者募集方法

- ① **開催日程**： 各会や県連の例会、部会、役員会、理事会などの日程を考慮して、『第4木曜日午後7時～8時30分』と決めました。
- ② **参加者募集方法**： 県連理事や各会代表者経由で、実行委員会事務局からの開催案内メールを各会の会員に転送してもらうと共に、これまでの海外登山参加者にも直接メール配信をすることにしました。2回目以降は、オンライン講演会受講者にも直接メール配信をすることにしました。

- ③ **募集人数**：『30名』と設定したところ、「多くの参加希望者があった場合はどうするのか…?」という質問が出ました。Zoom ミーティングでは最大 100 名までは参加できるので、仮に 100 名を超えても受け付けるが、Zoom 講演会招待メールを配信する際に、『先着 100 名』というコメントを加えることにしました。3 回目までは、この心配（配慮）の出番はありませんでした。
- ④ **参加申込方法**：『開催案内』と一緒に配信した『参加申込書』に必要事項と質問を記入し、参加者から事務局に直接メールを送付してもらいました。
- ⑤ **招待メール(URL)配信**：開催日 2 日前に参加申込者にメール配信しました。

<3> 講演テーマ（参加者数/申込者数）

- ① 9/30：コロナ禍の山行（33 名/35 名）
- ② 10/28：アフターコロナの山行の為に（24 名/29 名）
- ③ 11/25：アフターコロナの山行①国内高所（2500m～3500m）トレッキング
- ④ 12/23：アフターコロナの山行②海外高所（3500m～5800m）トレッキング
- ☞『テキスト』、『資料』、『Q&A』は、千葉県連ホームページに掲載中です。
- ☞受講感想や意見などを提出してもらい纏めて参加者に配信しました（①②）。

付け加えて報告しました。

<4> 講演の進め方

講師より、事前にテキストと資料をメールでお送りいただき、事務局でもって編集をしています。と言っても、未熟なパソコンスキルに不安を抱えながら、『編集をしなければ…』という思い一つで作業を進めています。お陰様で、パソコンスキルは、確実にステップアップしたのでは…と思っています。

講師と私が Zoom 機能を十分に操作できないため、テキストと資料を充実させ、参加者に事前に配信し、各自が印刷をして参加してもらっています。

講師にとって、『対面ではない…』ということで参加者の反応を見ながら講演を進めることが出来ず、また、初めての Zoom 講演ということで、戸惑いと不安を抱えながらのスタートとなり、かなりの苦労（心労）があったのでは…と思います。

でも、先生の語り掛けるような分かり易い話し方に、受講者からの感想は好評で、『次回も楽しみです…』という声が多数寄せられ、先生も私もホッとしています。

<5> 今後の課題・願望

Zoom の『画面共有』という機能を十分に利用して、更に、受講生が分かり易く、親しみ易いオンライン講演会にレベルアップし、今後も同様なイベント（講演会、交流会など）を実施していければ…と秘かに願っています。

そのためにも、先ず取り組まなければならないことの一つとして、私の『パソコンスキルの向上』が必要と痛感しています。

一方、コロナ禍が落ち着き、以前のように対面での集会などが開催できる日が 1 日も早くやってくることを願ってやみません。（2021/11/19/Fri.）

柏市民活動フェスタに参加して

2021 年 11 月 かがりび山の会 野田久生

柏市民活動フェスタとは、市内で様々な市民活動団体が活躍していることを知り、地域や市民活動に参加するきっかけとなることを目的として開催する、市民活動の見本市です。（柏市パンフレットより）

当会は 10 年ほど前より会の PR、会員募集を目的として毎年参加していますが、昨年はコロナのため残念ながら中止となりました。今年はコロナ感染に配慮して、例年より規模を縮小しての開催となりました。

日 時 2021 年 11 月 23 日（火）勤労感謝の日 10：00～15：00

場 所 柏駅東口サンサン広場（ダブルデッキ）、駅前通りハウディモール、他

参加団体 60 団体（山の会は当会のみ参加）

かがりび山の会の出展内容

ブース ダブルデッキ テント 1 区画（3.6m×2.8m）

内 容 会員 5 名程度がブース常駐、会活動の紹介を主として説明しました。
山行活動の写真、山道具の展示（登山靴、雪山・岩登用具、食器類他）

来訪者はあまり多くありませんでしたが
山の写真に見入って昔話をしていたか
れた年配の方も数人おられました。



かがりび山の会のテント 写真、山用品の展示

県連予定表

1月			12月		
日付	曜日	県連行事予定	日付	曜日	県連行事予定
1	土		1	水	
2	日		2	木	
3	月		3	金	
4	火		4	土	
5	水		5	日	
6	木		6	月	役員会
7	金		7	火	女性委員会（ZOOM会議）
8	土		8	水	
9	日		9	木	
10	月	役員会（県連事務所）	10	金	
11	火		11	土	
12	水		12	日	
13	木		13	月	
14	金		14	火	
15	土		15	水	
16	日		16	木	理事会(船橋市西部公民館)
17	月		17	金	
18	火		18	土	
19	水		19	日	
20	木	理事会（船橋市西部公民館）	20	月	
21	金		21	火	
22	土		22	水	
23	日		23	木	県連 第4回ZOOM講演会 19時
24	月	教遭委員会	24	金	
25	火		25	土	
26	水		26	日	
27	木		27	月	教遭委員会（ZOOM会議）
28	金		28	火	
29	土		29	水	
30	日		30	木	
31	月		31	金	

事故発生時の連絡先

●事故一報は事故発生後一か月以内に！

●全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>